

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：城北地区	開催日時：令和7年11月12日（水）18時00分 ～ 19時40分
担当班：第1班（出席議員）大竹俊哉、笹内直幸、中川廣文、大山享子、松崎新	
開催場所：城北コミュニティセンター	
参加人数：男性 5名、女性 2名、合計 7名（うち班外議員 1名）	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について 駅前周辺についての意見があった。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 中心市街地の活性化についての意見があった。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 地域づくり</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 町内会活動について、少子高齢化の中で、役員の高齢化と担い手が不足しているという問題がある。これは、町内会以外の各種団体にも関係している。また、地域間の移動手段の在り方について「さわやか号」の取組について伺う。</p> <p>③ 主な地域課題 町内会活動や地域活動を継続する仕組みをどのように作っていくのかという課題があり、特に担い手が不足している、という課題がある。</p>	

会津若松市議会議員 様

令和7年12月2日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第1班 代表者 大竹 俊哉

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
会津若松まちなか案内所の運営は、神明通り商店街と株式会社まちづくり会津が行っている。予算化して活性化できれば良いが、できなければどうなるのか。何度か案内所へ行ったが魅力ある企画が少ないように思う。「行ってみよう」と思えば、バスに乗って出かける。また、栄町第二庁舎には、国際交流協会や社会福祉協議会が入ることもあり、まちなか案内所、栄町第二庁舎、會津稽古堂との連携が必要である。	会津若松まちなか案内所やイベントスペースは市の土地ではなく、周辺住民が買い物できるスーパーマーケットなどがなくなったことにより、商業施設の誘致に向けて市と中心市街地活性化協議会で検討してできたという経緯がある。業者が見つかるまでの中心市街地の活性化策の一つとして整備した。これがゴールではなく、今後も中心市街地の活性化策については検討していく。	○	①	中心市街地
会津若松駅前開発は準備が進んでいるのか。	駅前開発ではなく、駅前整備計画として予算がつき、進められている。（当日、資料を配布した）	○	①	会津若松駅前
会津若松駅前の花壇について、植栽が気になる。季節の花を植えているが、花の色の配置を考え、駅前の景観と合わせて見直すべき。	駅前の花壇は、ボランティア活動で植栽している。花の選別は、予算の範囲内で行っており、現在は、種から植えて花を育てているが、難しい作業になっている。まちづくり整備課が公共花壇に取り組んでいるが、募集をしても応募が無い。ぜひ「花と緑のスタッフ」になっていただき、アドバイスをお願いしたい。	○	①	会津若松駅前
会津総合運動公園について、野球場、体育館、陸上競技場に広告がついているが、ネーミングライツについては、現在どこまで進んでいるのか。	公共施設管理や担当所管が取り組んでいるが、希望する企業がない状況であり、もう少し時間が必要である。	○	①	財政

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	地域づくりをテーマとしたことについて、国が進めてきた住民福祉のサービスを全国統一に行うことが困難になり、本市においても、地域ごとの課題を地域で決めて運営する方向となった経緯がある。会津若松市には15地区あり、6地区が地域づくりの協議を進めている。城北地区の現状として、少子高齢化の中で、町内会役員の高齢化と担い手が不足しているという問題がある。これは、各種団体にも関係している。会長から、地域の町内会活動についての現状を説明していただき、その後、住民の移動手段について意見交換を行う。				
町内会活動について、高齢者が多くなり以前のような活動ができなくなっている。また、貸家が増えて人も増えたが、借家の住民は、町内会活動に参加しない。個人情報関係で名前も分からず、連携を取ろうにも難しい状況である。また、ごみや除雪など様々な課題がある。子どもの行事等もできなくなっている。地区活動の人手の問題がある。	町北・高野地区や行仁地区でも、各種団体が継続できないとの意見が出た。例えば、町北・高野地区では、体育連盟が存続の危機にある。さらに、両地区では、民生委員・児童委員の改選が12月にあるが、選出が困難であるとのこと。城北地区は、どのような現状なのか。	○	②		地域社会
民生委員・児童委員は、18名中1名欠員で厳しい状況にある。区長についても、20町内のうち、私が4人分を担当している。城北地区には、14の地区団体があるが、人が集まらない状況である。高齢者から子どもまで様々な課題があり、若者を含めても、自分の時間を使って地域活動をしようという人がいなくなっている。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	全市的に町内会活動への若者の参加が非常に難しくなっている。同様に、子どもの行事が減少し、こども会についての現状を報告し、意見交換したい。本市のこども会の現状は、コロナ禍で活動が止まり、コロナ後に再開したが、子どもの参加が無い状況である。こども会活動ができる地区とできない地区がある。				
私の出身地である二本松市では、典型的な少子高齢化の地域で、昼間、若者は少ない。役員の担い手はいない。運動会の参加者集めも一苦労だ。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
私は民生委員・児童委員をやっている。金川地区の民生委員・児童委員は後任が見つからない状況である。なぜ民生委員・児童委員になりたくないのかを分析して、誰もが喜んで委員を引き受けてくれるよう、地域活動を魅力あるものにしていただきたい。なり手がいなければ、探すのではなく「もうあなたたちやってください」と指名できないかと思う。自治体職員を退職した方が、積極的に地域活動に参加するよう検討するべきだ。地域活動を活性化させるため、民生委員・児童委員主催の講座を年2回実施している。民生委員・児童委員と地域とのつながり、何でも相談できる関係を作り、交流を深めている。さわやか号の運行も、民生委員・児童委員が担当している。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
私も民生委員・児童委員している。金川町は町内行事が多く、民生委員・児童委員の活動は、自主的だが毎月行事があり、ランチ会や役員会に参加している。高齢者の地域サロンは、年5回やっているが、参加者は、60人前後である。町内会役員のなり手が無いのは、同じ人が長年担う弊害があるのではないかと。役員を輪番制にしてもよいのではないかと。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
民生委員・児童委員を今年で9年しているが、今年で辞めることにした。後任が見つからない状態で辞めるので、心苦しく思っている。金川町は、民生委員・児童委員を担える方が多くいると思っていたが、見つけることができなかった。町内会では、多くの活動がある。グランドゴルフ、老人会、金川文庫の本を貸し出している。民生委員・児童委員活動と町内会活動で高齢者が、楽しく過ごせている。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
私は、金川町に住む40代であり、学生時から30歳までは県外にいた。震災の年に戻ってきて、14年になる。役員の担い手がいないという話ですが、私の世代は、仕事、趣味やスポーツをやっている。「役員をやってください」と言われても、「私はできません」という立場である。役員が終わったら「次の人」と任務を渡すのではなく「1年間一緒にやってみませんか」という形で、一緒に「こういう風にやっていくんですよ」と二人三脚で任務を伝え「大丈夫ですね」という形で役員を担ってもらう取組はどうか。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
町内には一人暮らしが多く、半数が75歳以上である。町内の活動ができていない。人が集まって気楽に話をする場ができると近所付き合いなどが復活する。最近、近隣の3町内会で集まり、夏のラジオ体操をやるようになった。一つの町内会単位では、成り立たない活動を互いに支える活動になればと思っている。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
民生委員・児童委員、体育連盟、保健委員会の活動について、役員以外はどのような活動をしているか分からないのが現状である。活動の内容や時間、週や月に何回活動するのかが分からず、「大変だよ」としか聞こえてこない。その活動内容が公開されれば「私は興味あるし、得意だからやってもいいよ」、となるのではないか。行仁地区では、「健康福祉部から地域社会福祉協議会を作ってと言われ、市民協働課からは、地域づくり協議会を作ってくれと言われる。担い手がいなくて、二つ同時にはできない」と発言があった。活動している人は分かるが、それ以外の人にはなかなか情報が伝わっていない。地域の現状について、今後は考えていかなければならない。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
	住民の移動手段として、さわやか号の運行について、説明していただきたい。				

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
住民コミュニティバス「さわやか号」の運行は、会津若松市の地域内交通として、運行されている。平成26年11月に運行を開始して以来、現在11年目である。令和6年に10周年記念行事を開催した。利用者の利便性を確保するということを考えて、取り組んでいる。乗車体験ツアー、定例ランチ会の企画、バスラッピング、クリスマスプレゼント、フリー区間の設定、会員権のプレゼント、スタンプカードによる1回乗車券のプレゼント、免許返納者への2か月分の会員権プレゼントなど、継続した取組を行っている。	ご意見として伺う。	○	②		交通
	これまで路線の再編があった。リオンドールアピオ店に行く便を復活した。どのように良くなったのか、利用者の声を含めて説明していただきたい。				
会津アピオのリオンドールは品揃えが多く、電気店や郵便局、銀行もあり、ほとんどの用事を済ませられるため、さわやか号に乗車する利用者が増えた。特典については、会員券は2,500円で、1回乗車は300円である。さらに、会員券が10枚集まったら1枚無料でプレゼントされる。また、リオンドールのポイント券6枚で会員券2,500円相当と交換できる。	ご意見として伺う。	○	②		交通

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
さわやか号の運行路線の除排雪の関係で要望がある。優先して排雪を行っていただきたい。もう一つ、さわやか号は、ドアが手動であり重く開閉に苦慮している。近年、車両の故障が多く、代車による運行が多い。車両更新についてお願いしたい。	さわやか号の車両更新は、議会に要望が届いている。予算決算委員会で、執行機関に伝えている。	○	②		交通
公共交通とまちづくりは切り離せない。神明通りに会津まちなか案内所が開所した。商店街を活性化してまちを回遊できるところにしてほしい。高齢者は、遠くへ買い物に行けない。また、さわやか号で行く毎月のランチを楽しみにしている。これは安否確認のようなもので、家に閉じこもりがちな人たちの健康寿命を伸ばすためには、ランチ会の継続は大切である。		○	②		中心市街地

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
神明通り商店街がとても寂しく感じる。神明通りの活性化をしていただきたい。	8月から神明通りに案内所が開設された。市民や観光客が施設を利用し、観光や市民同士の触れ合いができる場所となった。神明通りの活性化については、行政、商店街、そして市民の協力がないと活性化は難しい。行政は、神明通りの環境整備に力を入れているが、現状は寂しい。議会としては、引き続き意見を聞き、考えていく。	○	②		中心市街地
神明通りでイベントを開催しているが、土日が中心のようだ。さわやか号は、土日は運休なので参加できない。今後も継続して取り組んでほしい。	予算決算審査で、神明通りの活性化について「市民要望」を具体的に深める。	○	②		中心市街地

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	<p>本日のまとめとして、町内会活動や地域活動は継続する仕組みをどのように作っていくのかという課題がある。提言のあった「一緒になって活動する」ことは、良いことだと思う。次年度の役員を担っていただくために活動を共にし、安心して継続するというやり方もある。また、一つの町内ではできないが、複数の町内会が集まってできることをやるとの意見をまちづくりに活かしていきたい。住民の移動手段であるさわやか号については、継続する中で、活動の深みが増したと思う。議会では、バスに乗るだけではなく、「生活の足」として、住み続けられるための公共交通という位置付けが重要で、乗車して行った先で「楽しかったね」「乗って良かったね」と言われる経過と結果が必要だと考える。バスに乗るだけでなくプラスアルファが必要だということは、議会モニターの方からも指摘を受けた。「孫と買い物に行きたいね」「外食に行きたい」といった行為につながることでバスに乗車する、ということが必要であるという提案があった。同じ内容が意見交換会で提案された。今後深めていきたい。今回のテーマ「地域づくり」は、深まったと思う。</p>	○	②		